

動物の安楽死を考える III

— 科学・倫理・社会の視点から —

動物に関わる倫理的課題への社会的関心が高まる中、「安楽死」は、動物を不必要な疼痛や苦痛・苦悩から解放するための重要な獣医学的課題です。本シンポジウムでは、実験動物、伴侶動物、野生動物、シェルターメディスンの各分野における現状と課題について、専門家による講演を通じて理解を深め、我が国における科学的根拠に基づく安楽死のあり方を議論します。

動物福祉の
向上と
社会的理解の
促進をめざして



2026年 **11月28日** (土)
13:00 ~ 15:05



オンライン開催
(参加費無料)

どなたでも
ご参加
いただけます

プログラム

司 司 役 石塚 真由美 (日本学術会議連携会員 / 北海道大学獣医学研究院 教授)

座長 田中 亜紀 (日本獣医生命科学大学獣医学部獣医学科 特任教授) 中村 進一 (岡山理科大学獣医学部獣医学科 講師)

13:00

開会の挨拶

堀 正敏

(日本学術会議 第二部会員 / 東京大学大学院農学生命科学研究科 獣医薬理学研究室 教授)

13:05

実験動物の安楽死を考える前に
— 動物実験・動物福祉・制度を知る —

坂本 雄二

(株式会社ケー・イー・シー)



13:35

実験動物と伴侶動物の安楽死を考える
— 実験動物医学専門医制度、麻酔科学、
米国獣医学会「動物の安楽死指針」を手がかりに —

佐々木 一益

(秋田県立循環器・脳脊髄センター 主任研究員 /
袋原どうぶつクリニック)



14:05

野生動物の保安全管理における
捕殺・安楽死と動物福祉
— 現場の現状と課題 —

森光 由樹

(兵庫県立大学大学院 (共生博物部門) 准教授)



14:35

シェルターメディスンにおける
安楽死とワンヘルス

木原 友子

(日本獣医生命科学大学 応用獣医学部門
野生動物学研究室 助教)



15:05

閉会の挨拶

高井 伸二

(日本学術会議 第二部会員 連携会員 / 北里大学 名誉教授)

主 催

日本学術会議 食料科学委員会、食料科学委員会・基礎医学委員会合同獣医学分科会、
食料科学委員会・農学委員会合同食の安全分科会

共 催

日本法獣医学会

参加申込

右のQRコードから
お申し込みください。

